

002

**学び合う×実践する×助け合う
＝「自分でやる防災」のための
防災プログラム事業**

取組主体

自分でやる防災 研究・普及所

※一般社団法人 復興応援団が運営する任意団体

従業員数

想定災害

実施地域

3人

全般

全国

・「学び合う、実践する、助け合う、『自分でやる防災』のための防災プログラム」事業を提供し、日本全体にケーススタディを基礎とした自助＝自主防災の普及を目指す。

1 取組の概要

大規模災害の復興事業のノウハウを防災教育へ

・個人・家庭向けとグループ・団体向けの2つを柱に防災プログラム事業を提供する「自分でやる防災 研究・普及所」は、大規模災害現場で復興に携わってきたノウハウを活かし、企業や学校、マンション管理組合等住民組織、自治体などを対象に「自分の頭で考えて、行動する」ための防災教育に取り組んでいる。

「個人・ご家庭向け」と「グループ・団体向け」2種類の事業

- ・「個人・ご家庭向け」会員は、防災 LINE メルマガやオンライン勉強会、防災ワークショップなどを受講できる。
- ・「グループ・団体向け」会員に向けては、管理組合・自治会等住民組織向け、学校・保育園向け、企業・法人向け、自治体向けの各種プログラムが提供されている。



家庭向け防災ワークショップ

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

「自分の頭で考えて、行動する」ための3つの運営方針

・大規模災害では、通信インフラもライフラインも破壊され、マニュアルも通用しない。公助もすぐには差し伸べられず、頼れるのは自分だけ、という局面が必ず訪れる。そのため、平時から「自分の頭で考えて、行動する」ことに慣れているか否かが生き残るカギとなる。この考えのもと、3つの点を重視してプログラムを運営している。

実践者の知見を重視する

・被災した方々の実経験をはじめとして、被災地での支援活動に従事した方々、あるいは医療や介護、住宅やコミュニティ作りなど、防災に関連する各種業界での実践者の方々の持つ知見を重視する。

ケーススタディを中心に伝える

・決まった答えが書いてあるような「マニュアル」は作らず、参加者自ら備えるための材料として、過去の災害で実際に起きた「ケーススタディ」を伝えることを中心に行う。

「実践」と「行動」こそゴール

- ・真のゴールは「学び」や「知識」を得ることのみではなく、場で得た気づきを活かして、参加者が自ら備えを「実践」に移すことにある。どんな些細なことでも実際に「行動」して、具体的な一歩を踏んで、前進できるよう導く。
- ・災害が頻発する日本の防災では、ケーススタディを基礎とした自助＝自主防災こそがカギになるとの信念から、上記の運営方針を通じた当事者のエンパワーメントに最も注力している。



管理組合向け防災ワークショップ

3 取組の効果

- ・「グループ・団体向け」の高等学校を対象としたプログラムで、一連のプログラムを実施した後、実際の災害を想定した「抜き打ち防災訓練」を行った。
- ・「地震です」という急な放送に、訓練と知らされていない生徒たちは、はじめこそ焦るものの、速やかに机の下に潜る。その後「近くの川が氾濫したので、上に逃げてください」との案内で、3・4階へ避難し、クラスごとにミッションが課される。
- ・全員の安否確認を取り、先生への報告をもって完了。その後、振り返りを行った。抜き打ちということで一気に現実味を増すが、生徒たちは落ち着いて行動を取ることができた。



学校向け防災訓練

4 取組への想い

- ・災害など有事の際にこそ、自分の頭で考えて、行動することが求められる。大規模災害では、通信インフラもライフラインも破壊され、マニュアルも通用せず、公助もすぐには差し伸べられず、頼れるのは自分だけ、という局面が必ず訪れる。平時から「自分の頭で考えて、行動する」ことに慣れているか否か、それが、大規模災害でも生き残るカギとなる。
- ・東日本大震災を中心として、被災された方々200人以上に取材し、大災害を乗り越えた叡智を集めてきた。その叡智を学び、それを糧に、「自分の頭で考えて、行動する」習慣作りの取組を続けている。

5 防災・減災以外の効果

- ・被災された方々、現場で支援に携わった方々の話を聞き、ケーススタディを学び、「その時どうするか」を考えることで、「自分の頭で考えて、行動する」ことに慣れることができる。これは、大規模災害以外の場でも、自らに備わっている「生き抜く力」を引き出す役に立つ。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・学校・保育園向け防災訓練の実績を踏まえて、学校防災プログラムの充実に寄与していきたい。

7 周囲の声

- ・「被災された方々の体験談が、毎週 LINE で届くたびに「あ、そうだった！」と気が引き締められて、単発の講座を聴くとかより断然良いですね。おかげさまで、水、食料、トイレなど、備えを全部見直して入れ替えしました！」（個人・ご家庭向けWS参加者）
- ・「避難訓練アップデートを行い、全校生徒の防災に対する意識は確実に高まったと思います。「防災を自分事化する」をテーマとし、自分たちで考えて行動する中で、自分の命を守ることはもちろん、災害時に高校生が果たす役割についても考えるきっかけをもらいました。」（グループ・団体向けWS参加者）

担当者の声

- ・災害大国・日本。自分を、そして大切な人を守るため、ひとりひとりができるのは、被災された方々の経験や知恵を活かして、普段から「備え」をすること。それを、私たちは「自分でやる防災」と名付けました。
- ・さあ、具体的で実践的な新しい防災を一緒にはじめましょう。

問合せ先	動画	サイト URL
自分でやる防災 研究・普及所 電話番号：090-4958-6688 E-Mail：info@jibun-bousai.com URL：https://jibun-bousai.com/	—	